

## 会 議 録

会 議 名：北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会（令和3年度第2回）

開催日時：令和3年11月12日（金） 午前10時～午後0時

開催場所：北杜市役所 3階 大会議室

議事次第：（1）北杜市公共施設等総合管理計画改訂の骨子案について  
（2）その他

会議資料：会議次第・名簿・北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会設置要綱、議事資料

会議の公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）：公開

傍聴人の数（公開した場合）：1人

出席委員：藤原真史、矢野 望、小川 昭二、村田 茂、清水 精、矢崎 茂男、矢崎 憲恒

欠席委員：松木 良

事務局：上村市長、小林副市長、宮川政策秘書部長、中田企画部長、田中企画課長、  
齊藤企画担当リーダー、本荘企画担当、奥石企画担当

会議録署名委員：村田 茂、清水 精

## 1. 開会

## 2. 委員長あいさつ

## 3. 市長あいさつ

## 4. 議事（議長 藤原委員長）

### （1）北杜市公共施設等総合管理計画の改訂について

・事務局より、北杜市公共施設等総合管理計画改訂の骨子案等について説明した。

#### （質疑応答）

委員 ・北杜市は合併した経緯もあり市域面積が大きい。資料中に延床面積を人口で割った場合の他自治体との比較はあるが、市域面積で施設面積を割った場合にどのような比較となるか、計画に記載する必要はないが参考までに整理してほしい。

事務局 ・現状、市域面積での比較は行っていないため、今後整理しお示ししたい。

委員 ・高根東小への統合により、閉校した学校の施設利用、跡地利用はどうなっているのか。また、計画実施においては、そのような廃止施設の有効利用について考えてほしい。

事務局 ・閉校した清里小、高根北小は、民間団体に貸し出し、有効活用を図っている。基本的には、廃止となった施設全てについて、有効活用や除却等を庁内で検討することとなっている。

委員 ・資料中に「縮減」「削減」の2つの言葉があるが、どのように使い分けているのか。

事務局 ・経費に対しては「削減」、延床面積に対しては「縮減」とし、使い分けている。

委員 ・統合、複合化などの最適配置の手法について、40%縮減を進めていく中で、どの手法を適用していくか、手法毎の適用割合の想定はあるのか。

事務局 ・割合の想定はしていない。来年度策定を行う個別施設計画に合わせて、各施設にどのような手法を想定していくか明示していく。

委員 ・H29年度の整備・改修費用が約39億円と突出しているが、どのような要因によるものか。

事務局 ・H29年度は、小淵沢駅舎や子育て支援住宅武川団地の建設、高根東小学校増築工事、須玉小学校大規模改修工事があったため、費用が大きくなっている。

委員 ・計画の内容は理解できるが、一般の方には難解な部分もあるため、説明会はわかりやすく説明をしてほしい。また、計画のポイントは、「今後の人口減少による税収減と高齢化による扶助費増加による厳しい財政状況が見込まれる中、今後安定した行政運営を行い、住民サービスの維持・向上させていくために、必要な施策である」という点であると感じており、その点を理解してもらえるよう丁寧に説明したほうがよい。

事務局 ・今後の区長会や地域委員会等の説明において、ご意見を踏まえつつ、わかりやすく丁寧な説明を行っていきたい。

- 委員 ・資料3の表題中の「普通建設事業費」と「建設改良費」という言葉の使い分けは不要ではないか。「維持管理費の推移」といった表題でよいではないか。
- 事務局 ・インフラに関わる費用と公共施設に関わる費用を分ける意味で使用したが、言葉が難解なため、ご意見を踏まえ、平易な言葉を用いていきたい。
- 委員 ・計画の中で多くの分析をしているが、説明を聞くとその中で40%縮減の数字が頭に残りやすく、短絡的に施設数が40%減るようになってしまう。例えば、8町にそれぞれ1つずつある施設については、計8施設から、4.8施設に減るイメージを持ってしまう。しかし、施設数と面積と費用については、必ずしも一致しないため、イメージと実際の話は少し違うと想像するが、いかがか。また、学校と住宅が市内全体の延床面積の約50%を占めており、それが大きく減ってしまうイメージを持つが、現実的に考えにくく、この40%縮減を具体的にどのように捉えればよいか。
- 事務局 ・具体的内容は、今後策定する個別施設計画の中で示していきたいと考えている。今回は、北杜市の今後の財政状況等の見通し等を踏まえると、30年後の大きな目標として40%縮減を掲げる必要があると考えており、目標に向けて今後詳細を詰めていくイメージである。
- 委員 ・杓子定規に施設分類ごとに一律で40%縮減をするわけではなく、必要なものは有効活用し、また、最適配置や縮減を行う中で必要な分野へ投資をしていくことも含め、今後説明や検討を進めてほしい。
- 事務局 ・40%縮減といっても単に施設を廃止するわけではなく、縮減しながら高機能化する手法や民間譲渡によりサービスを維持していく手法もあるため、できる限りサービスを低下させない形で進めていく旨を説明していきたい。
- ・策定中の総合計画では、子育て支援に力を入れていく点等を盛り込む予定であり、そのような施設については、新たに建設することも考えられる。そのような新たな取り組みを進める中で、必要なもの、比較的不必要なものを見極める中で、計画を進めていきたい。
- 委員 ・今後新しく整備する施設も必ずあると考えるが、40%縮減との整合性をどう図っていくのか。
- 事務局 ・施設全体の最適配置を行う中で、新たな施策の実現のために新しい建物の建設を行うことも想定されるが、その際に既存施設の統合、高機能化を行うことで、整合性を図っていくことが考えられる。
- 委員 ・北杜市小・中学校適正規模等審議会において、来年3月の答申に向けて議論を進めているが、中々議論が進んでいない状況がある。中学校については、現状の施設配置では、生徒の減少により、部活動が成立しない等、生徒の行動に制限が加わることを危惧している。
- ・各学校にプールがあるが老朽化が進んでおり、今後改修が必要となる見込みである。アイデアとして、その際に、個々の学校でプールを改修するのではなく、プールを共有化・集約化することで、費用の削減や施設の高機能化につながるのではないかと考えている。

- 事務局 ・中学校については、韮崎市の場合 2 校、甲斐市の場合 3 校であるが、北杜市については、甲陵中学校を含め 9 校もあり、他市比べて多い状況がある。今後の個別施設計画においては、例えば、2～4 校にし、その中で高機能化することも考えられ、どのようにしたら教育の質を高めていくことになるのか検討していきたい。
- 委員 ・現計画と比べて、現状の延床面積が 40 万㎡台に減少している要因はどのようなものか。
- 事務局 ・現計画については、延床面積以外のクラインガルテン等の農地面積が参入されていたため、その分大きく減少している。また、清里小と高根北小の高根東小学校への統合も減少の要因となっている。
- 委員 ・現計画では一部施設を縮減の対象としていたが、改訂案では全ての施設を対象に 40%縮減と踏み込んだ内容にしているが、その違いはどのように説明するのか。
- 事務局 ・本改訂の背景として、本市の特徴として、合併前に建設した建物について今後 20 年間に急速に老朽化し改修が必要になることや、他市に比べて市民 1 人あたりの延床面積が多いこと等があり、踏み込んだ内容としている。
- ・現計画は、縮減対象を、今後更新時期を迎える施設の延床面積の 30%に限るとともに、残す施設についても築 30 年目で行う大規模改修を一部施設に限定することで、追加の費用削減を見込んでいた。一方で、改訂案では、残す施設は、全て 30 年目で大規模改修を行うことにしており、その改修費用を見込んだため、延床面積の 40%縮減が必要となっている。
- 委員 ・改訂案は厳しい現実に向かかっていく姿勢を示しているということで理解した。
- 委員 ・地域に現存する施設が、計画の対象施設に載っていないが、どのような理由か。
- 事務局 ・対象施設については、行政財産になっているものであり、当該施設については、普通財産となり対象外となっているのではないかと考えられる。
- 委員 ・今後、実際に統合となった施設について、事前に住民へ説明してもらうことは可能か。
- 事務局 ・実際に廃止、売却する際は、手続きの中で通常公告というものがあり、周知を行う。また、その前段階として、令和 4 年度策定予定の個別施設計画においては、概ね 10 年スパン毎に、各施設の統合等の方針を示すことを想定しており、その内容も個別施設計画策定時に周知していく。
- 委員 ・総論賛成、各論反対が想定される。骨子案 P 6 の基本方針をしっかりと立てないと、各論反対となりやすい個別施設計画策定時に、整理や説明が難しくなっていくことが想定される。総合管理計画において、しっかりと方針を立てたほうがよい。
- 委員 ・いくつか意見を述べさせていただく。今後の参考にしてほしい。
- ・これまでの計画での費用に関する取り扱いについて、総合管理計画では主な数値が「更新費用」となっていたが、以前公表された個別施設計画の骨子案においては主な数値「管理運営費」となっており、費用の扱いを整理したほうがよい。

- ・40%縮減を目標に掲げているが、実際は、施設の種類によって、床面積あたりの維持管理費用等は異なる。床面積を減らす理由は、経費削減が目的であるため、床面積以外の縮減指標があっても良いのではないかと感じた。
- ・民間活用について、指定管理者制度の場合は、更新費用の大きな削減効果はあまり見込めないため、うまく手法を組み合わせることで費用削減を目指してほしい。
- ・単なる延床面積等の数合わせではなく、どのようなサービスを市が今後目指すのかを示しながら、説明や検討を進めてほしい。
- ・資料3について、公共施設だけの費用増を示しているが、実際には、それ以上にインフラ費用が増加するのではないかと懸念している。その辺りの記載、表現も検討したほうがよいのではないかと懸念している。また、数値目標において、インフラについてはあまり触れないとの記載となっているが、今回思い切った計画とするのであれば、この際インフラについても踏み込んだ記載をするのもありではないかと考える。

(その他、意見等なし)

## (2) その他

- ・事務局より、次回の本検討委員会について令和3年11月25日(木)に開催する旨説明した。

(意見等なし)

## 5. 閉会

以上